

平成 2 3 年度 蕨市立病院経営方針

この経営方針は、病院経営改革の着実な推進を図るため策定した「蕨市立病院改革プラン」の行動計画を病院職員一人ひとりが自覚し、組織一丸となって実行できるよう定めたものである。



蕨市シンボルマーク

当病院の存在意義

当病院は、常に安定経営の上において、地域に密着しながら市民の健康増進に貢献することを使命とし、市民の意向や要望を反映した質の高い医療サービスの充実に努め、市民から信頼され、安心して医療を受けられる、市民のための自治体病院として、引き続き、存続することを基本とする。

平成 2 3 年 4 月

蕨 市 立 病 院

蕨市立病院の理念とビジョン

基本理念

次の基本理念に基づき、市立病院としての経営を推進する。

(地域・市民の視点)

市民の健康を守り、地域に根差した市民に愛される病院となります。

(患者の視点)

患者や家族の満足を第一に考え、安全な医療と質の高いサービスを提供し、安心して医療を受けられる病院となります。

基本方針

基本理念を実現するため、経営改革プランで策定した「行動指針・将来ビジョン」を遵守して、全職員が市立病院の運営に参画し、自治体病院としての地域医療への役割を果たすとともに、安定した病院経営の構築を目指す。

(方針のポイント)

- ☆ 近隣医療機関等との連携強化
- ☆ 患者満足度の向上
- ☆ 患者・家族の個人情報の保護の徹底
- ☆ 接遇レベルの向上と自己研鑽
- ☆ 全職員の緊密な連携
- ☆ 効率的でムダのない業務の遂行

行動指針

当病院の基本理念を実現するため、次の行動指針に基づき、職員が一丸となって、実行していくことを約束します。

- 私たちは、地域における安心・安全な医療提供を実現するために、近隣の医療機関等と十分な連携を図りながら病院運営を行います。
- 私たちは、患者や家族に満足していただけるよう、インフォームド・コンセント（説明と同意）に取り組み、すべての行動が患者の満足につながるよう努めます。
- 私たちは、患者や家族のプライバシーを守ります。
- 私たちは、安定的で質の高い医療サービスを提供するために、自発的な向上心に基づき、時間を惜しまず自己研鑽に励みます。
- 私たちは、最適な医療活動を実践していくために、全職員が緊密な連携をとりながら職務を遂行します。
- 私たちは、効率的な運営を行うために、院内の業務上のすべてのムダをなくすよう努めます

将来ビジョン(目指す方向)

1. 当病院は、救急医療を含めた二次医療機能を主軸としながら、質の高い医療サービスを提供します。
2. 当病院は、自治体病院としての特質を活かした運営形態を維持します。
3. 当病院は、地域と連携しながら、診療科目の編成を行い、医療の提供に取り組みます。
4. 当病院は、適切な病床規模を確保し、地域の医療需要に対応します。
5. 当病院は、職員教育に力を注ぎ、職員全体が同一方向を向いて、患者満足度の向上に努めます。
6. 当病院は、マネジメント体制を強化し、職員一人ひとりが自分の役割を果たしながら、経営改革に取り組みます。
7. 当病院は、経営の健全化・効率化を図りながら、安定した経営の実現を目指します。
8. 当病院は、継続的な地域医療を提供するため、建物・設備の充実に取り組みます。

平成23年度重点取り組み事項

基本目標

平成17年度から4年連続して純損失を計上した当病院の経営状況が、昨年度の平成21年度に続き22年度も純利益が見込まれ、更には不良債務の解消もできる見通しとなった。これらは、平成20年度末の「蕨市立病院経営改革プラン」策定までの全職員の取り組みを通じた自主的な経営参画への意識の涵養や、共通認識による目標達成に向けた努力の成果である。

しかしながら、地域医療の中核的病院である当病院が、今後とも救急医療など総合病院の機能を維持しながら良質な医療を提供し続けるためには、安定した診療体制を維持することや継続した経営基盤の強化が求められることから、少子高齢化や機能分担による高度医療化など地域医療を取り巻く環境の変化に対応しつつ、持続的な経営健全化を進めることが必要である。

目標値

市立病院経営改革プラン(2009～2013)の計画年度の3年目にあたる今年度の目標値を設定するにあたっては、前年度見込みを参考に各診療科のヒアリングによる目標設定とした。

経営の健全化を推進するため、事業経費を抑制しつつ収入の確保を重視して良質な医療サービスを提供する取り組みを基本とし、全職員一丸となって下記の目標達成に努めることとする。

○ 平成23年度診療科別目標患者数の確保

・入院患者数目標値 38,800人 ・外来患者数目標値 137,800人

平成23年度診療科別目標患者数及び目標収益

診療科	病棟	目標患者数・収益単価		目標年間収益	病床利用率	
		1日当り	1件当り単価			
入院	内科	5	45人	27,800円	458,000千円	86.5%
	外科	3	30人	28,000円	307,000千円	
	整形外科		4人	27,100円	40,000千円	
	小児科		5人	58,900円	108,000千円	
	眼科		5人	58,600円	107,000千円	
	産婦人科(婦人科)		2	17人	58,600円	365,000千円
	産婦人科(産科)					
計		106人			1,385,000千円	81.5%

(開院366日)

診療科	目標患者数・収益単価		目標年間収益	
	1日当り	1件当り単価		
外来	内科	140人	12,200円	504,000千円
	外科	50人	8,300円	122,000千円
	整形外科	50人	6,600円	97,000千円
	小児科	60人	5,800円	103,000千円
	眼科	30人	7,200円	64,000千円
	産婦人科	90人	7,000円	186,000千円
	耳鼻咽喉科	26人	7,000円	54,000千円
	人工透析科	21人	31,100円	193,000千円
計	467人		1,323,000千円	

(開院295日)

目標管理の徹底

基本目標の数値、経営改革プラン行動計画の実施状況については、毎月の管理会議において目標達成度の点検・検証を行い、目標管理を徹底する。

また、7月及び1月に開催する蕨市立病院経営改革プラン外部評価委員会における目標の設定内容や計画の進行管理と実施状況に対する評価結果を受けて、経営強化に努める。

重点推進項目

経営改革プラン行動計画に掲げた取り組み事項のうち、特に重点として推進すべき項目

1. 常勤医師の確保

- ・内科(消化器系)医師及び整形外科医師各2名の採用

2. 地域医療連携の推進

- ・地域医療連携による病病・病診の連携強化と機能分担
- ・亜急性期患者の受入れ
- ・紹介率・逆紹介率の向上
- ・医療相談の充実

3. 病床利用率の向上

- ・救急患者の積極的な受入れ等による病床利用率の向上(目標値は81.5%)

4. 職員の接遇レベルの向上

- ・職員の接遇教育の実施
- ・院内の接遇レベル管理体制の整備・実施

5. 新たな人材の確保

- ・医療事務に精通した医療事務職員(プロパー)の確保

経営改革プラン以外の重点項目

1. 診療単価の向上

- ・診療報酬点数に加算できる診療行為の実践及び診療報酬請求への確実な反映
- ・医療資源の有効活用

2. 病棟看護体制を強化するための看護師確保

- ・患者動向に基づく看護要員の増員配置